

なら

## 植防ニュース

## 令和3年度の病害虫発生について

奈良県病害虫防除所 井村岳男・浅野峻介

令和3年度は梅雨の走りと秋雨前線の発達が早く、例年になく5月と8月の多雨に見舞われたことが特徴的だった。これにより、総じて病害の発生が多かったが、9、10月は逆にまとまった降雨が少なく、これ以降は病害の発生は概ね平年並となった。また、5月にトビイロウンカが初飛来したが、8月の多雨により発生が抑えられた。

**水稻：**イネいもち病は、全般に葉いもちが平年より多く、穂いもちも多くなった。いもち病の第一次伝染源は罹病種子であり、本年のような天候は発生リスクを高める。箱粒剤に加え、早期に葉いもちが認められた際は、追加の粒剤処理を実施することで、穂いもちの発生を抑えることができる。トビイロウンカは5月～6月に断続的な多飛来を確認、7月には2～3割程度の水田で幼虫が発生した。しかし、普通期水稻を中心に防除効果の高いトリフルメゾピリムを含む箱粒剤が広範囲で使用されたことから総じて密度は低く、

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒633-0046 桜井市池之内130-1  
奈良県農業研究開発センター内  
TEL:0744(47)4861

FAX:0744(47)4862(専用)

HP: <http://www.narasyokubo29.sakura.ne.jp/>

## 目 次

◎令和3年度の病害虫の発生について	1,2
◎農薬の使用制限に係る登録変更	2
◎令和3年度奈良県農業研究開発センター 成果発表会	3
◎登録失効になった農薬 (FAMICの失効農薬情報より)	4

さらに8月の多雨で増殖が抑えられ、坪枯れには至らなかった。ただし、海外からの飛来量が多い傾向が3年続いており、次年度も警戒を怠らず、効果の高い箱粒剤による予防をお願いします。

**果樹：**カキ炭疽病が多発生となった。5月の降雨で越冬した罹病枝から緑枝に感染が拡がり、8月の降雨で果実での発病が助長された。本病害は、降雨が継続する場合には薬剤散布回数を例年より増やし、散布できる雨の合間を逃さないようにすることが重要である。また、次年度の第一次伝染源となる罹病枝の除去に注力する必要がある。モモ、スモモ、ウメ、サクラの侵入害虫クビアカツヤカ

ミキリは、今年度は県西部地域の市街地で急増し、中南部のモモ生産園地で被害樹が増加した。今後も被害の拡大が予想されるので、5月頃から園内の見回りを励行し、樹幹から多数のフラスが噴き出しているのを確認したら、最寄りの農林振興事務所にご相談いただきたい。また、本種は樹に食入されると防除が難しく、農薬散布による産卵予防が重要なので、発生前からの予防散布を検討していただきたい。

**野菜:** イチゴ炭疽病は育苗期を通じて発生が多く、特に8月下旬に発生の進展が顕著であった。雨よけを行っていないハウスでは、胞子の雨滴伝搬による発病の拡大が見受けられた。葉かきをすることで、薬剤の付着の改善とともに、胞子の形成が生じやすい古葉を除去することができる。ナス褐色腐敗病は、例年は秋の降雨によって主に秋に発生するが、本年は6、7月から多かった。伝染源は、耐久器官である卵胞子であり、罹病残渣や土壌中に存在している。連続的な降雨前の予防散布が、発病後の散布より効果的である。こ

のほか、今年度は一部のイチゴ圃場において、これまで発生したことのなかったミカンコナカイガラムシとカキノヒメヨコバイが多発した。天敵製剤導入による減農薬栽培が広範囲に普及すると、こういった潜在害虫が顕在化することが先進地からも報告されている。ハウス内に鉢植えなどの目的外作物を持ち込まないことを徹底するとともに、日頃から圃場内の害虫や天敵の発生を観察して、いち早く異変に気づくよう努めていただきたい。

**花き:** キク白さび病は作期を通じて発生が多く、最近5年の間で最も発生が多くなった。本圃での薬剤散布は、葉裏に薬剤を付着させることが困難となる。そのため、採穂前に親株床での薬剤散布を行い、本圃への菌の持込を少なくする。

令和3年度は、例年と異なる時期に降雨が多く、特に天候が病害の発生に大きな影響を及ぼすことを改めて実感できた。今後は、気象情報に応じて薬剤散布計画を修正し、圃場の観察を怠らないようにしたい。

農薬の使用制限にかかる登録変更(2021.12.23~2022.3.8)

農林水産消費安全技術センター(FAMIC)農薬情報・速報及び各農薬メーカーHPより抜粋

登録番号	農薬の種類(名称)	変更内容	申請者名略称	登録日 月/日/年
20940	アセフェート粒剤(「興農」ジェネレート粒剤)	ばれいしょの削除	興農股份有限公司	2/9/22

## 令和3年度 奈良県農業研究開発センター 成果発表会

3月3日に奈良県農業研究開発センター  
交流・サロン棟にて、オンライン参加と会  
場参加を併用し、開催された。一部を報告す  
る。

### 強力系統小麦品種「はるみずき」の奨励品種 採用 育種科 松山 俊介氏

県内では、中力系品種「ふくはるか」が奨  
励品種として採用され、県中部の平坦部で栽  
培されている。しかし、近年、学校給食用パ  
ン用小麦粉の需要が増加し、強力系品種が求  
められている。そこで、有望品種として選抜  
した強力系品種「はるみずき」の県内におけ  
る栽培と加工の適性を調査した。その結果、  
ふくはるかと比べ、成熟期は早く、収量も同  
等であり、タンパク質含有率は高かった。ま  
た、製パン適性は標準パン用小麦と同等であ  
った。この調査から、新たな品種を導入する  
条件を満たしていたため、「はるみずき」は昨  
年10月に県奨励品種に指定された。202  
3年から現地栽培品種を全面切り替えし、2  
024年6月以降出荷が始まる。今後は、収  
量増加に向けた栽培管理法や中山間地での  
栽培適性の調査に取り組んでいく。

### イチゴ栽培での天敵導入によるアブラムシ 類の防除効果 環境科 山口貴大氏

化学農薬に代わる防除技術として、アブラ  
ムシ類に寄生する天敵アブラバチを用いた

アブラムシ類防除について調査した。市販製  
剤では、アブラムシ類は低密度で推移し、農  
薬の散布回数は1、2回減少した。また、ア  
ブラムシ類は12月から増殖するため、11  
月中の天敵導入が有効であった。ただ、アブ  
ラムシ類の密度により防除効果が不安定だ  
ったため、天敵が安定して増殖できるよう、  
増殖場所(バンカー)を作り、防除効果の安定  
化を図った。イチゴを加害しないトウモロコ  
シアブラムシを餌として発生させたオオム  
ギをバンカーに用いた。市販製剤とこのバン  
カーを組み合わせた結果、市販製剤のみと比  
べ、アブラムシ類をより低密度に抑え、化学  
農薬の散布回数も減少した。この結果から、  
バンカー導入により、天敵アブラバチの発生  
が安定し、防除効果の安定化につながったと  
考えられた。本防除技術のイチゴ主要害虫の  
総合防除体系の一つとしての活用が期待さ  
れる。

その他の発表課題を以下に記す。

- ・酒米有望系統の選抜と消化性の検討
- ・ダリア切り花の輸送に用いる低コスト給水  
資材
- ・柿の収穫期予測への取り組み
- ・ヤマトトウキの単味製剤向け栽培方法
- ・耕種的防除法(剪枝)を利用した輸出向け  
茶生産方法

## 登録農薬失効情報 (2021.12.1~2022.2.28) 農林水産消費安全技術センター (FAMIC) の登録農薬失効情報より抜粋

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名 (略称)	失効日 月/日/年
<b>殺虫剤</b>				
12265	マラソン粉剤	サンケイマラソン粉剤 1. 5	琉球産経	12/9/21
12268	M E P 粉剤	サンケイミチオン粉剤 2	琉球産経	12/9/21
12281	B P M C ・ M E P 粉剤	サンケイミバツサ粉剤	琉球産経	12/9/21
12282	B P M C ・ M E P 乳剤	サンケイミバツサ乳剤	琉球産経	12/9/21
12283	B P M C 乳剤	サンケイバツサ乳剤	琉球産経	12/9/21
17923	M I P C 水和剤	みみんず水和剤	日本農業	2/22/22
18213	イミダクロプリド粒剤	アドマイヤー箱粒剤	ルイール	12/15/21
19118	アミトラス・プロフェジン乳剤	タイクーン乳剤	日本農業	2/22/22
20809	ジノテフラン粒剤	アルバリン箱粒剤	加納ヨウ	12/3/21
21042	イミダクロプリド粉末	ガウチョWS	ルイール	12/15/21
21972	ジノテフラン・ベンフラカルブ粒剤	オンコルスターク粒剤	三井化学アグロ	2/8/22
22129	イミダクロプリド水和剤	リードックフロアブル	ルイール	12/15/21
23560	シアントラニリプロール水和剤	デュボン エクシレル S E	ワイルド・ケムル	12/1/21
23625	ジノテフラン液剤	M I C ウッドスター	三井化学アグロ	2/8/22
<b>殺虫殺菌剤</b>				
15406	M E P ・ バリダマイシン ・ フサライド粉剤	ラブバリダスミ粉剤 3 D L	住友化学	2/17/22
16220	カルタップ ・ B P M C ・ バリダマイシン ・ フサライド粉剤	ラブバダンバリダ B 粉剤 D L	住友化学	2/17/22
18475	イミダクロプリド・トリシクラゾール粒剤	バイエルビームアドマイヤー粒剤	ルイール	12/15/21
19121	エトフェンブロックス・カルタップ・バリダマイシン・フェリムゾン・フサライド粉剤	ブラシバダンレバリダ粉剤 D L	住友化学	2/17/22
19360	テブフェンジド・プロフェジン・フサライド・フルトラニル粉剤	コルター 2 号 F 粉剤 D L	日本農業	2/22/22
20099	カルタップ・プロベナゾール粒剤	明治バダンオリゼメート 1 キロ粒剤	Meiji Seika	12/17/21
20770	M E P ・ フサライド粉剤	ラブサイドスミチオン粉剤 3 D L	住友化学	2/17/22
20772	エトフェンブロックス・M E P ・ フサライド粉剤	ラブサイドスミチオン粉剤 D L	住友化学	2/17/22
20876	イミダクロプリド・スピノサド・トリシクラゾール粒剤	バイエルビームアドマイヤースピノ箱粒剤	ルイール	12/15/21
21059	ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤	明治グラントオリゼメートオンコル粒剤	Meiji Seika	12/17/21
21227	ジノテフラン・プロベナゾール水和剤	明治側条オリゼメートスターク顆粒水和剤	Meiji Seika	12/17/21
21498	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	明治ビルダースターク箱粒剤	Meiji Seika	12/17/21
21554	プロフェジン・ヘルメトリン・ミクロプタニルエアゾル	ベニカ D X	日本農業	2/22/22
22071	ジノテフラン・メトミノストロピン粒剤	イモチエーススターク 1 キロ粒剤	三井化学アグロ	2/8/22
22073	ジノテフラン・チアシニル粒剤	日農ブイゲットスターク粒剤	日本農業	12/21/21
22074	ジノテフラン・チアシニル粒剤	ブイゲットスターク粒剤	三井化学アグロ	2/8/22
22272	ビメトロン・フィプロニル・プロベナゾール粒剤	ビルダープリンスチェス粒剤	Meiji Seika	12/17/21
22273	ビメトロン・フィプロニル・プロベナゾール粒剤	シンジエンタ ビルダープリンスチェス粒剤	シンセイ	12/9/21
22359	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	ファーストオリゼプリンス粒剤 6	Meiji Seika	12/17/21
22427	ジノテフラン・プロフェジン・トリシクラゾール粉粒剤	ビームアブロードスターク微粒剤 F	ケイ化学	2/21/22
22428	ジノテフラン・プロフェジン・トリシクラゾール粉粒剤	日農ビームアブロードスターク微粒剤 F	日本農業	2/22/22
22446	シラフルオフェン・フサライド粉剤	M I C ラブサイドジョーカー粉剤 D L	三井化学アグロ	12/21/21
22659	クロラントラニリプロール・ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	ビルダーフェルテラスターク箱粒剤	Meiji Seika	12/17/21
22789	ジノテフラン・プロフェジン・トリシクラゾール・フルトラニル粉剤	ワッシュイ粉剤 D L	日本農業	2/22/22
22930	イミダクロプリド・エチプロール・クロラントラニリプロール・イソチアニル粒剤	ルーチンクアトロ箱粒剤	ルイール	12/15/21
23193	クロラントラニリプロール・ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤	明治ジャッジフェルテラ箱粒剤	Meiji Seika	12/17/21
23238	エトフェンブロックス・テブフロキン粉剤	トライ 2 トレボン粉剤 D L	Meiji Seika	12/17/21
23240	ジノテフラン・テブフロキン粉剤	トライ 2 スターク粉剤 D L	Meiji Seika	12/17/21
23241	ジノテフラン・テブフロキン粉剤	M I C トライ 2 スターク粉剤 D L	三井化学アグロ	2/8/22
23244	シラフルオフェン・テブフロキン粉剤	トライ 2 J 粉剤 D L	Meiji Seika	12/17/21
23373	ジノテフラン・ベンチオピラド水和剤	M I C スターガードプラス A L	三井化学アグロ	2/8/22
23406	ジノテフラン・テブフロキン粉剤	M I C トライスターク粉剤 D L	三井化学アグロ	2/8/22
23409	シラフルオフェン・テブフロキン粉剤	トライ J 粉剤 D L	Meiji Seika	12/17/21
23598	スピノサド・フィプロニル・プロベナゾール粒剤	D r . オリゼプリンススピノ粒剤 1 0	Meiji Seika	12/17/21
23739	スピノサド・フィプロニル・プロベナゾール粒剤	ファーストオリゼプリンススピノ粒剤 1 0	Meiji Seika	12/17/21
24121	スピノサド・プロベナゾール粒剤	ファーストラゾーナスピノ粒剤	Meiji Seika	12/17/21
<b>殺菌剤</b>				
14145	フサライド粉剤	ラブサイド粉剤 D L	住友化学	2/17/22
18016	フェリムゾン・フサライド水和剤	ブラシ水和水剤	住友化学	2/17/22
18685	イミベコナゾール水和剤	明治マネーシ水和水剤	Meiji Seika	12/17/21
19539	プロベナゾール粉粒剤	オリゼメートバック	Meiji Seika	12/17/21
20076	プロベナゾール水和剤	側条オリゼメート顆粒水和剤	Meiji Seika	12/17/21
21111	銅水和水剤	Z ボルト	日本農業	2/22/22
22193	トリシクラゾール・フェリムゾン粉剤	ブラステクト粉剤 D L	住友化学	2/17/22
22195	トリシクラゾール・フェリムゾン水和剤	ブラステクトフロアブル	住友化学	2/17/22
22445	イミノクタジン酢酸塩・フサライド粉剤	M I C ラブサイドベフラン粉剤 D L	三井化学アグロ	12/21/21
23992	テブフロキン水和剤	トライ g r o u n d フロアブル	Meiji Seika	12/17/21
<b>除草剤</b>				
18607	ベンチオカーブ・ベンディメタリン・リニエロン乳剤	サイアナミッドクリアター乳剤	BASF アグロ	12/17/21
18715	プレチラクロール・ベンゾフェナップ水和剤	ユニハーフフロアブル	北興化学	1/20/22
18860	ベンチオカーブ・ベンディメタリン・リニエロン粉粒剤	A C C クリアター細粒剤 F	BASF アグロ	12/17/21
20447	オキサジクロメホン・プロモブチド・ベンゾフェナップ水和剤	サムライフロアブル	北興化学	1/20/22
20465	オキサジクロメホン・プロモブチド・ベンゾフェナップ粒剤	サムライジャンボ	北興化学	1/20/22
20628	フェントラザミド・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ水和剤	バイエルデンカムテキフロアブル	北興化学	1/20/22
21163	エトキシスルフロニル・オキサジアゾン・ベンフレゼート粒剤	ロングショット 1 キロ粒剤	北興化学	1/20/22
21589	イマザピル・グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	リゾ液剤	BASF アグロ	12/17/21
22204	オキサジアルギル・プロモブチド・ベンゾフェナップ粒剤	バイエル ババル 1 キロ粒剤	北興化学	1/20/22
22237	ピラククロニル・ピラソスルフロニルエチル・ブタクロール・ベンゾピシクロン粒剤	ハーデー 1 キロ粒剤	日産化学	12/20/21
23573	ピラソスルフロニルエチル・ベンチオカーブ・ベンチキサゾン粒剤	日産ゲキテツ 1 キロ粒剤	日産化学	12/20/21
<b>その他</b>				
12425	展着剤	サンケイサーファクタント W K	琉球産経	12/9/21
20648	プロベナゾール複合肥料	オリゼメート入り複合肥加安 2 6 4	Meiji Seika	12/17/21
21244	プトルアリン乳剤	ニューファムブルーリボン	ニューファム	1/19/22
21628	展着剤	クイックタッチ	Meiji Seika	12/17/21
22736	プロベナゾール複合肥料	明治一発 6 6 4	Meiji Seika	12/17/21
23686	ジノテフラン複合肥料	ハイボネックス原液 プラス殺虫剤	宇都宮化成	1/14/22